

くらき永田保育園便り



昨年に引き続きコロナ感染拡大防止の観点から、縮小して行われた夏祭りごっこではありませんが、子どもたち参画型のイベントは、想像以上に保育の効果が高かったように感じています。「楽しませてもらう夏祭り」から、「自分たちで楽しむ夏祭り」に着実に進化しているように感じています。毎年恒例と言われている行事に関してもこれからは様々な制限がかかる中で実施していくことが予想されますが、やるからには保育のねらいをはっきりさせ、その中で万全を期していくスタンスでいきたいと思えます。

さて、園庭からプールが姿を消し、これからはゆっくりと運動会モードに気持ちが切り替わってくると思えます。運動会も「実施する」ことを目的にしてしまうと、いまだ全国で20万人を超える感染者が出ている現在、「在園するすべての子どもを取りこぼさない」という大きな目標を失ってしまいます。今年度の運動会は10月1日当日だけでなく“毎日が運動会ごっこ”というテーマのもと遊びの延長線上に運動会を置いて、「大人が考えた競技を達成する」運動会から「自分たちが考えて楽しむ」運動会にしたいと思えます。

ということは10月1日(0・1歳児クラスは10月〇〇日)に保護者にお見せするのは運動会ごっこの一場面ということになりますが、この一ヶ月の期間にどのように「カラダを動かす」ことを楽しんでいるのかをお伝えできるように頑張っていきたいと思えます。今までと趣向は違いますが、子どもたちの日常の姿や成長を感じられるような運動会していきます。

大規模災害に備えての確認

今年の夏も各地で風水害の被害が相次ぎました。私たちは地震だけでなく、温暖化の影響による災害に対しても備えていかねばなりません。9月は保育園でも防災強化月間で、防災・減災・備蓄などについて再点検を行う予定です。

この機会に大規模災害時の確認を再度行いたいと思えます。

- ・ 電話がつながりにくい状態が想定されますので、園からの情報はN T T災害用伝言ダイヤル(171)をダイヤルし利用ガイダンスに従って下さい)により情報を提供していきます。
- ・ 震度5以上の地震の際は安否にかかわらず至急お迎えをお願いします(交通機関が乱れる為)。
- ・ 大規模災害が実際に起こった際でも 保護者の方にお子さんを引き渡すまでは開園時間を超えても保育園で責任を持ってお預かりします。

お知らせとお願い

保育園のアイドル「カメのあーちゃん」の食糧が不足しています。夏場は食欲もありムシャムシャと野菜を食べる姿は見ていて気持ちが良いくらいなのですが、野菜の値段の高騰は頭の痛い問題です。少量でも構いませんので、自宅で余った野菜などありましたら、異年齢クラスの職員、または事務所までお願いします

各クラスの夏ならではの過ごし方をお伝えします！

にこにこ



酷暑や体調不良でなかなか水遊びが出来なかった8月…それでも涼をとろうと、用意したのは氷！！しかもウッドデッキで育てたトマト・キュウリ入りです。子どもたちがどのような反応を見せてくれるのか、保育者はワクワクしながら遊びスタート。まずはじっと観察する子どもたち。不思議そうな顔、怪訝そうな顔、すぐに面白そう！の笑顔…保育者が触れる姿を見ると安心するのか、手を伸ばす姿が増えてきます。触ってみると冷たくてまたびっくり！見て触れて心や体が動いている様子がよく分かります。時間が経つと氷は小さくなり、中からトマトやキュウリがどんどん顔を出します。野菜遊びは何度か楽しんでいたので、積極的に触れる子どもたち。氷が溶けていく過程も溶けた後もたっぷり楽しめた野菜氷でした。ぜひご家庭でも〇〇氷、作ってみてはいかがでしょうか！？



よちよち

連絡帳やダイアリーでも度々お伝えをしていますが、今年はミニトマトとキュウリを育てました。ミニトマトは食べることも遊びの中にもたくさん取り入れてきましたが、キュウリはあまり遊びに取り入れることができていなかったのもので、今回はキュウリを使って遊びました。

まずは収穫した立派なキュウリを保育士と一緒に折る！折ったところからちぎってみる子もいました。キュウリを細かくした後はペットボトルの中に水と一緒に入れ冷凍庫の中へ。次の日、冷凍庫から取り出して見ると…キュウリ氷の完成！！早速みんなで触ってみると、氷の中からキュウリを取り出そうとする子もいれば、手で持ちたがる子もいるなど反応は様々でした。氷作りが楽しいと知った子どもたちは次にミニトマト氷を作っていましたよ！夏野菜+氷という夏ならではの遊びでした！



すくすく

すくすく組では氷遊びが広がっています。繰り返し遊んでいることで氷遊びに変化が見られるようになりました。氷に触れている中で溶けて水になることに気がつき、その溶け水での遊びが始まりました。乾いた場所（地面や床）に氷を押し当て「ぺったんこ、ぺったんこ…」とまるでスタンプの様にして絵を描く子どもたち。そこで乾いた大きめの板を用意するとみんなでお絵描き大会が始まりました。クレヨンや紙でもないもので描くことに不思議を感じていました。1人がやり始めるとその場所に子どもたちが集まり氷を滑らせていました。初めは板の色が変わることを楽しんでいましたが徐々に自分の描きたいものをイメージして描こうとする姿がありました。互いに何を描いたか教え合いながらなかなか終わらないお絵描き大会でした。

まだまだ暑さは続きそうです。氷に触れて涼を感じながら楽しく過ごしていきたいです。



異年齢

『夏祭りごっこは大盛り上がり！』

くらき永田保育園の夏の遊びの定番になった夏祭りごっこですが、今年は子どもたちが『井土ヶ谷祭り』と名前を決めて遊んでいました。夏祭りの絵本「きんぎょとしょうぶ」や「わんぱくだんのなつまつり」を見ながら『これ作りたい』『ぼく焼きそば食べたい』と遊びたいものが出てきて、すぐに遊びが出来上がっていきました。また、法被や浴衣、甚平などを衣装として着ると、お祭り気分が友達とお店を回って楽しんでいました。8月26日に行われたお祭りごっこの最終日にはご家庭から着ていた色とりどりの甚平などで子どもたちの気分も最高潮の中、『月夜のぼんちやりん』や『お米音頭』でお祭りが始まりました。いきいき組の子どもたちが屋台を開いて年下の子どもたちに優しく対応してくれていました。夏祭り自体は終わってしまいましたが、今後ももっと楽しい遊びを子どもたちと一緒に作っていく予定ですのでお楽しみに！

運動会が始まります！

今年度は『子どもに寄り添った保育』を職員が意識しながら行ってきました。その中で『運動会』という行事のあり方も再度考え直すことにしました。過去にコロナ禍の中で行われた運動会では、自粛や療養中で活動に参加できず、途中から参加することで子どもの気持ちが活動に入りきれないこともありました。そうした要因を今後は改善して『誰一人取り残されない保育』を実現していくために、『遊びの先の運動会』を作っていこうと思っています。8月初めには運動会の絵本を題材に玉入れや跳び箱などを行ってきましたが、そういった普段の遊びを園庭にも広げていくなど遊びのまま運動会という行事を楽しめるものにしていきます。また運動会ごっこの遊びをいきいき組と作っていくプロセスも大事にしたいと思っているので、子どもたちが考えている様子や遊びの姿を9月に定期的に発信していこうと思っているので楽しみにしてください。



給食室

9月1日は「防災の日」です。皆さんのおうちでは食品の備蓄はしていますか？

・どのくらい必要？

大規模な災害が発生してから、災害支援物資が届くまでには3日以上。物流の停止により1週間はお店などで食品が手に入らない事が想定されるため、最低3日から1週間分の食品の備蓄が望ましいです。

・どんな内容か？

水は飲料水と調理用を合わせて、1人1日およそ3リットルあれば安心です。

食品は、主食（精米、パックご飯、乾麺）主食（レトルト類、肉や魚の缶詰）副菜（野菜の缶詰、野菜ジュース、乾物）を揃えると栄養バランスがととのいます。また、災害時は普段と違う環境で落ち着かないことが想定されるため、子どもの好きな食べ物や飲み物、安心するものを備えておくといいでしょう。

給食室では、食品備蓄になり普段使いもできる乾物にスポットを当て、園のホームページにレシピを公開しています。この機会にぜひご覧ください！

食育係より

今年度の夏野菜は全クラス、きゅうりとプチトマトを育てています。学年によって水やりの仕方や遊び方・食べ方が変わってくるので同じ野菜でも面白さを感じます。今回は各クラスの夏野菜を使った遊びを紹介します！にこにこ組では大玉のトマトを育てていたのので潰して感触遊びを行いました。またキュウリはおぼけキュウリに育ててじゃばらに切り込みを入れて遊びました。よちよち組では、プチトマトを水を張ったタライに入れて、トレーを使ってトマト掬いを楽しみました。トマトは潰してお絵描きもしています。すくすく組では、キュウリの汁を使って色水遊びをしたり、キュウリはそのまま食べたり、塩もみや味噌をつけて美味しく食べました。トマトはトマトジュースを作って飲んだり、ドラッピー（乾燥させる機械）に入れてドライトマトを作成中です。異年齢では園庭に出て赤くなっているプチトマトをそのまま食べる姿が見られます。キュウリは塩もみをして食べました。また、野菜が好きなカメのあーちゃんにも「たべてね」とおすそ分けをする様子がありました。子どもたちも毎日水やりをしている中で、「もうたべれる？」「あかくなったらたべるんだよね！」など大きくなる様子を楽しみにしていました。どのクラスも野菜を凍らせて暑い中でも涼を感じながら遊んでいました！

今月の行事

- 5日（月） 上履再開（異年齢クラスの方はご準備お願いします）
- 10日（土） アップデートフォーラム「保育のリフレクション」
布団乾燥
- 15日（木） 久保先生のわらべうた
- 19日（月） 敬老の日
- 21日（水） 運動会総練習①
- 23日（金） 秋分の日
- 29日（木） 運動会総練習②

新しい絵本が増えました！

7月に遊言育係が神保町にある『ブックハウスカフェ』に行ってきました。ここはこどもの本を専門にしている本屋さんでカフェが併設されています。今回は職員の研修として絵本を調べたり、たくさん絵本に触れる機会となりました。その中で、子どもたちにとってくらし永田保育園としてどんな絵本が必要なのか考えて、多くの絵本を購入しました。各クラス、オススメしている絵本を絵本コーナーに用意しています。ぜひ立ち寄ってみてください！そしてお家での絵本タイムの1冊にしてください。

ブックハウスカフェ



絵本コーナー

